

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学力の向上の項目では「伝え合い活動」はほとんどの職員が意識して授業の中に仕組むことができた。生徒も学習内容の理解につながっていると答えている。マイプランについては意識の高まりが見られ、個人の取組が充実したことにより、学力状況調査の結果も高い数値を示し良好な結果となった。ただ、学力向上対策シートとの関連づけがまだ十分とは言えず強化する必要がある。</p> <p>・心の教育の項目では豊かな心を身につけるための道徳教育、人権・同和教育ともに、充実した教育活動が展開できた。また、生活アンケート等を活用して、いじめの早期発見・早期対応を図った。夢や目標の実現に向けて生徒と保護者で意識の開きがあり、改善させたい。</p> <p>・業務改善・働き方改革の項目ではコロナ禍の中、学校行事や部活動など工夫改善がなされたところもあり、時間内での業務遂行ができ、時間外勤務時間の削減につながった。</p> <p>・地域とともにある学校づくりの項目では、コロナ禍により、学校行事や地域交流事業等が中止されたり、制限を受けたりした。特に例年参加していたボランティアは全て参加できなかった。コロナ禍が終息したら、これまで以上に参加させたい。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	賢く 優しく たくましい 生徒の育成 ～地域とともに、9カ年の学びのなかで～
----------	--

3 本年度の重点目標	①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③たくましい心身の育成 ④働き方改革の推進 ⑤小中一貫教育並びに地域とともにある学校づくりの推進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価					
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果		評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上とする。	・校内研修等で全職員が学力向上対策シートの共通実践を共有し、マイプランにつなげた取組の実践する。		・						学力向上対策コーディネーター
	○「吉田メソッド」の深化	○「主体的・対話的で深い学び」を引き出す発問の工夫を実践した教師を80%以上とする。	・①相手意識・目的意識をもった課題設定の工夫 ②思考が深まるような「考える」「伝え合う」過程の工夫 ③視点を示した「振り返る」過程の工夫の3つを意識して授業を行う。		・						研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒90%以上とする。	・道徳科の授業の充実 ・生徒主体の人権学習の推進		・						道徳教育推進教師
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○生徒・保護者の学校はいじめに対して未然防止、早期発見、組織的対応をしているという肯定的な評価80%以上をめざす。	・自他を尊重し、支持的風土のある学級・学校づくり ・日頃の観察、アンケート等による早期発見と組織的対応		・						生徒指導主事 教育相談担当
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上をめざす。	・個別の健康観察を実施し、基本的な生活習慣の改善を図る。 ・関係機関と連携し「食育教室」を実施。また、食育だよりで給食週間等の広報を充実する。		・						給食・食育担当 保健主事
	○「健康の増進と体力の向上及び衛生管理の徹底」	○自他の健康と環境衛生を意識した生活を送る生徒80%以上をめざす。	・運動・休養・食事のバランスの良い生活や感染症予防対策に対して生徒が意識できるようにする。		・						生徒指導主事 教育相談担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・時間外勤務時間月45時間以内を目指す業務改善、確実な定時退勤日の実施		・						管理職
	○業務の効率化と生徒と関わる時間の充実	○コロナ禍における行事の精選と運用の工夫、ICTの効果的活用	・学校行事等、必要性を見極め継続・廃止について検討する。		・						部活動担当 管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組				中間評価		最終評価				主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果		評価		意見や提言
○小中一貫教育の推進	○9年間の学びを意識した小学校との一貫教育の充実	○小中教員の相互乗り入れ授業や交流授業を昨年より30%増やす。 ○小中合同の行事を活性化させるための工夫・改善	・小中連絡会を定期的に行い特に教務主任の連携を密にして計画を立てる。 ・小中合同の打合せ時間を計画的に設定する。		・						
○地域とともにある学校づくり	○つながりを大切にし、郷土愛を育む「吉田学」等の推進	○地域と連携したボランティア活動への参加生徒数を全校生徒数の60%以上にする。	・「吉田学」を実施する際に、地域人材を活用する。 ・地域から学ぶだけでなく、地域に還元する広報活動を取り入れる。		・						ボランティア担当 管理職

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------